

総額で約475億円を計上

平成19年度当初予算(歳出)の会計別内訳と前年度との比較

会計名	平成19年度当初	平成18年度当初	前年度比
民生費	54億 0,587万円	51億 6,810万円	4.6%
土木費	29億 6,178万円	30億 5,921万円	△ 3.2%
総務費	19億 3,208万円	18億 2,966万円	5.6%
衛生費	18億 9,082万円	19億 1,213万円	△ 1.1%
公債費	18億 7,368万円	17億 6,238万円	6.3%
教育費	18億 6,064万円	23億 1,786万円	△ 19.7%
その他	19億 1,913万円	19億 8,768万円	△ 3.4%
計	178億 4,400万円	180億 3,700万円	△ 1.1%
曾木地区市有林管理	99万円	1,443万円	△ 93.1%
下水道事業	32億 0,190万円	36億 0,728万円	△ 11.2%
交通災害共済	1,750万円	2,214万円	△ 20.9%
国民健康保険	63億 4,426万円	58億 6,540万円	8.2%
自動車駐車場事業	7,412万円	7,500万円	△ 1.2%
老人保健	57億 8,045万円	58億 0,395万円	△ 0.4%
介護保険(保険勘定)	34億 6,047万円	33億 3,884万円	3.6%
介護保険(サービス勘定)	1,950万円	2,024万円	△ 3.6%
農業集落排水事業	1億 1,252万円	2億 3,426万円	△ 52.0%
土岐市・瑞浪市介護認定審査会	4,592万円	4,562万円	0.7%
土岐市・瑞浪市障害者自立支援認定審査会	599万円	622万円	△ 3.6%
計	190億 6,362万円	190億 3,335万円	0.2%
病院事業	81億 6,736万円	80億 7,641万円	1.1%
水道事業	24億 3,948万円	27億 0,865万円	△ 9.9%
計	106億 0,684万円	107億 8,506万円	△ 1.7%
合 計	475億 1,446万円	478億 5,541万円	△ 0.7%

※端数処理の関係上、一部数字が合わない場合もあります。

本市の平成19年度当初予算は、歳入で国からの税源移譲などの影響により、個人市民税が31・2%の大幅増。入湯税が「バーデンパークSOGI」のオープンによって、約800万円の増加を見込む一方、地方交付税については、市税収入の増加などを考慮し、2.1%減の38億円としました。

また歳出では、4月に市長選挙が予定されていることから、一般会計の予算については、骨格予算とし、行政運営に必要な義務的経費や、国の補助事業などで当初予算に計上する必要がある投資的経費などを中心に計上しました。

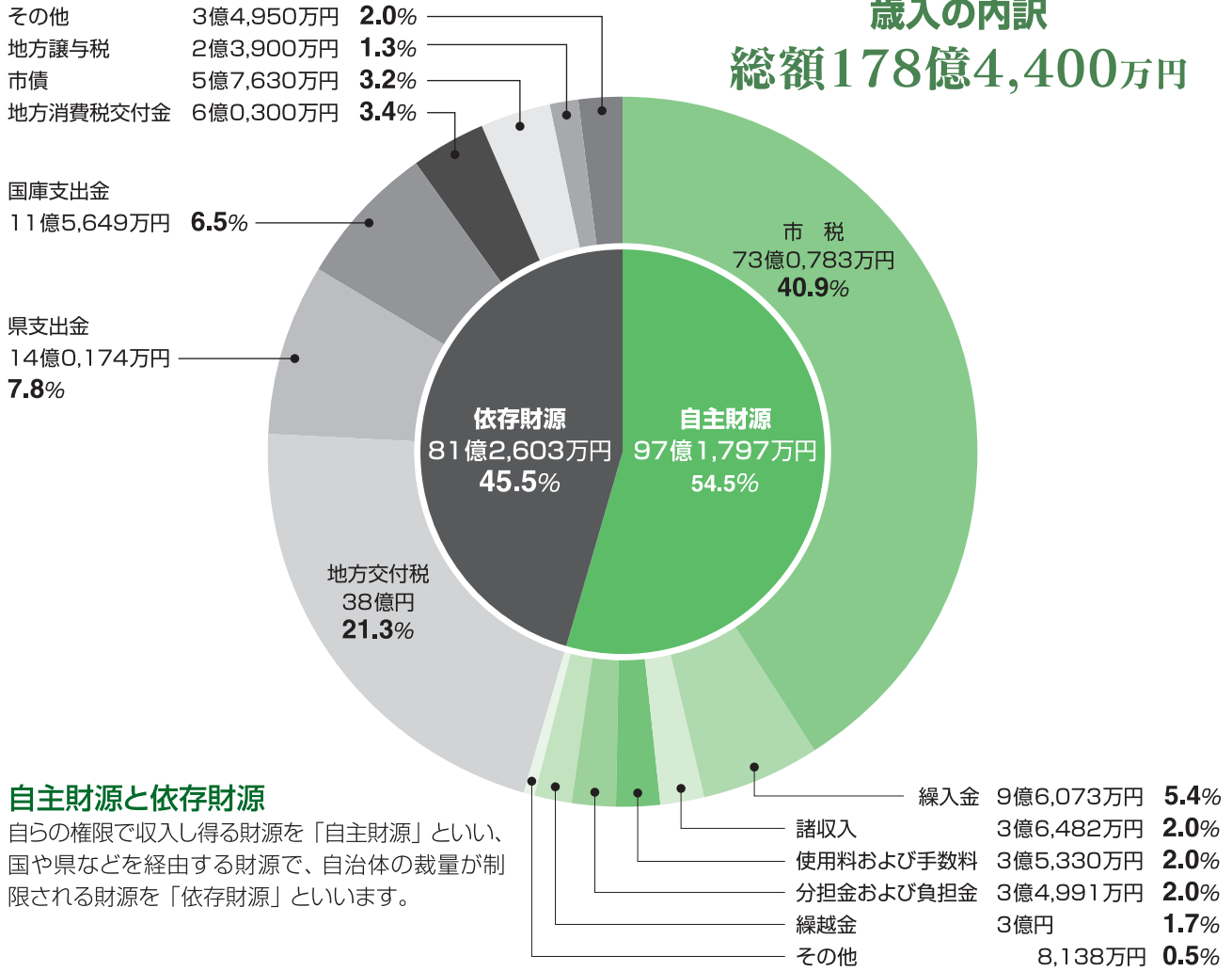
具体的には、中央本線西踏切拡幅改良工事などの継続実施や、庚申山神線道路改良工事、あんしん歩行エリア整備事業などを新たに行うこととしました。

予算総額は、475億1446万円で内訳は、一般会計で178億4400万円、特別会計で190億6362万2千円、企業会計で106億684万8千円です。

前年度当初予算と比較しますと、一般会計で1.1%の減、特別会計で0.2%の増、企業会計で1.7%の減、総計で0.7%の減となっています。



平成19年度一般会計予算 歳入の内訳 総額178億4,400万円



自主財源と依存財源

自らの権限で収入し得る財源を「自主財源」といい、国や県などを経由する財源で、自治体の裁量が制限される財源を「依存財源」といいます。

市民一人当たりで計算すると・・・（2月末日現在人口 63,689人で計算）

市税負担額

市民税 (個人分) 42,656円	たばこ税 4,774円
固定資産税 48,195円	軽自動車税 1,732円
都市計画税 7,714円	入湯税 174円
その他 9,497円	
合計 114,742円	

使われる一般会計予算

民生費 84,879円	衛生費 29,688円
土木費 46,504円	公債費 29,419円
総務費 30,336円	教育費 29,215円
その他 30,133円	
合計 280,174円	

※端数処理の関係上、一部数字が合わない場合もあります。

今年度はこんな街づくりをします

～主な事業～

美濃焼産業と

産業観光の振興

土岐市中小企業ものづくり総合支援事業

技術開発事業や販路開拓事業および、ブランド構築事業など、経営の革新による新分野への進出など、新たな成長段階までの「ものづくり」を一貫して支援するため、「土岐市中小企業ものづくり総合支援事業」を新たに実施します。

青少年の健全育成と

子育て支援

放課後教室

妻木小学校と駄知小学校でも今年度より試行し、指導員も実情を考慮し増員します。

夏期休暇中の預かり保育・3歳児からの園児の受け入れ

妻木小学校附属幼稚園と駄知小学校附属幼稚園でも今年度より試行します。



泉小学校での放課後教室の様子

児童・生徒の

安全確保対策

自動体外式除細動器(AED)・

防犯カメラの設置

全小学校に自動体外式除細動器(AED)を、全中学校に防犯カメラをそれぞれ設置します。



自動体外式除細動器(AED)

防犯ブザーの配布

児童の登下校時の安心・安全対策として、昨年度に引き続き、新小学1年生に、防犯ブザーを配布します。

学校教育関連の

施設整備

学校給食センターの移転改築事業

昨年度、基本設計を実施しました学校給食センターの移転改築事業は、来年度の建設工事着手に向け、実施設計を行います。

生涯学習施設の整備

下石公民館駐車場舗装・泉公民館耐震診断

生涯学習活動の拠点として各地域で公民館の整備を行っています。今年度は下石公民館駐車場舗装工事、泉公民館の耐震診断などを行います。

児童福祉の充実

入院時の医療費助成

子育て支援と保護者の負担軽減を図るため、小学1年生から中学3年生までの入院時医療費の助成を昨年度に引き続き行います。

介護保険事業

介護予防特定高齢者施策事業・認知症予防啓発講演会事業・独居高齢者見守り事業・配食サービス事業

人口に占める高齢者の割合が増える中で、保険給付額も年々増加し、保険財政への負担も大きくなっています。

こうした中で、介護保険法の改正によって創設された、地域包括支援センターを中核として「要介護・要支援状態」になることを予防するとともに「要介護・要支援状態」に



なつても、住み慣れた身近な地域で日常生活が送れるよう支援する事業として、今年度介護予防特定高齢者施策事業や、認知症予防啓発講演会事業、独居高齢者見守り事業および、配食サービス事業などを行います。

消防団活動の充実

消防団中核拠点施設整備

消防団活動の活性化と地域住民との連携を図るため、消防団中核拠点施設の建設を順次進めています。今年度は「下石町消防団中核拠点施設」の建設に向け、実施設計を行います。

消防用車両の更新

消防団活動に必要な機材の充実を図るため、消防用車両を順次更新していますが、今年度は、泉分団に配備する電源付小型ポンプ積載車1台を購入します。

道路の整備

庚申山神線道路改良事業・あしん歩行エリア整備事業・中央本線西踏切改良事業

今年度は「庚申山神線道路改良事業」に着手するとともに、市道8路線で、歩車共存道路の整備と交通安全整備を行う「あしん歩行エリア整備事業」を行います。

また、昨年度、踏切部の改良が完了しました「中央本線西踏切改良事業」は、引き続き、用地の取得と踏切北側の道路改良工事などを行います。



中央本線西踏切

橋梁の整備

橋梁の維持管理計画の策定

橋梁利用者の安全性の確保と、災害時における輸送路確保のため、橋梁の維持管理計画の策定などを行います。

公共交通の充実

市民バス車両1台の更新

高齢者など、交通弱者の日常生活に不可欠な交通手段として運行している市民バスについて、今年度は、老朽化した車両1台の更新を行います。



市民バス「ときめきとき号」

水道事業

監視装置本体の更新

水道水の安定供給に必要な不可欠な、中央監視装置の老朽化による更新を進めており、今年度は、昨年度完成した新たな中央監視室の監視装置本体の更新を行います。

下水道事業

下水道処理排水の高度処理化・農業集落排水事業・整備計画などの見直し

前年度に引き続き、駄知町・妻木町を中心とした面整備を行うほか、浄化センターでは、下水道処理排水の高度処理化を行うため、引き続き、施設の改修工事を行います。

また、鶴里町柿野地区で事業を推進しています。農業集落排水事業については、今年度中の供用開始を目指し事業

を進めます。

なお、下水道整備事業については、公共下水道、農業集落排水、合併浄化槽の適宜な組み合わせによる、水洗化率の向上を図ることとした上で、今後の整備計画などを見直します。



(仮称) 柿野浄化センター完成予想図

公園の整備

学園都市中央公園整備事業

現在、UR都市機構に委託して行っています。学園都市中央公園整備事業については、今年度中の完成を目指し、引き続き事業を進めます。

